

第7号  
2015年  
7月

# わげん便り



法人キャラクター わげんくんとアイゴちゃん





# 合同入社式



## 新職員を迎えて

理事長 座間 富藏

四月一日には大ぜいの新しい職員を迎えた。それぞれ専門の学問を学び、卒業と同時に縁があってワケングループの各施設に就職された。初めて社会へのスタートである。おそらく生涯の記念すべき日と記録されることだろう。謹んでお祝い申し上げます。

社会福祉法人はご存知のように極めて地味な事業体である。それにも拘わらずここを選んで頂いた心根に対して深く敬意を表する次第である。激変する社会情勢の中では、福祉事業を常にこれに対応出来る体制に整えて置かなければならない。それには今までの縦の線に横の線を加え、丸い輪（和にも通ずる）の中に入れると、縦横からいろいろなアイデアが生じ、このプラス要素が体制の強化に繋がる。単純な至近の例では、辞令交付を合同辞令交付式に切替え、そのあとにお祝いの会食を行って、人事の高揚に役立てた。また六月一日には、合同研修会を高尾山の山登りに決定した。参加者の幾人かに感想を聞いたところ、異口同音に「とても良かった」と答が返って来た。苦しい山登りで初対面同士が互に励まし合い、見事に全員が登頂に成功した。頂上に立った時、生憎曇で富士山は見えなかったが、眼下の景観はすばらしかった。苦と喜びを互にわかち合うことが出来た。今後の業務遂行にも通用するかも知れない。しめくくりは、高幡不動尊での打ち上げだったが、たった一日の行程なのに、あたかも十年來の知己の集りのようだったと話して呉れた。多大の成果だった。





新任の職員は早くも二か月が過ぎた。理想と現実のギャップが生じたかも知れない。しかしこれは成長の一過性に過ぎない。これから本格的に、さまざまな苦勞につき当ると思われる。これを克服してこそ価値ある人間性が完成される。昔の言葉に「苦の娑婆」とか「月にむら雲花に風この世のままにならぬこそ浮世に住める習いなれ」。山中鹿之介が「我に七難八苦を与え給え」と神に祈った。

先日のこと、デイサービスを利用している高令婦人が孫に「若い時の苦勞は買ってませよ」と云ったら、孫が曰く「おばあちゃん苦勞はどこに売っているか」と聞かれて返事に困ったと話された。新任の皆さんはまだ若い。しかも高度な知識を身につけたエリートである。如何なる苦勞にも耐えて頑張れば前途は洋々たるものがある。どうか自分の持つポテンシャルを発揮して福祉社会に貢献されることを切に祈念する。



## 法人新人研修

2015年4月1日～3日までの3日間で法人合同で新人研修が開催されました。各施設から36名の職員が10のテーマについて学び、グループワークを通じて同期の絆を深め有意義な3日間を過ごしました。

初日には緊張していた新人達も3日目には打ち解け合い、社会人一年生のメンバーも顔つきが変わってきました。2か月後には高尾山登山を皆で行うことも発表され、2か月後に元気で会うことを誓いそれぞれの職場に配属されました。

研修全体アンケートを取り纏めて思ったことは、全体的にやって良かったという感想が多く、その他に貴重な意見も頂いたので来年に生かせるようにして行きたいと思います。





# 新人高尾山登山研修



## 登山研修に参加して

総合相模更生病院 高橋すずか

私たちは、6月1日の新人研修で高尾山へ登山に行きました。この研修では、法人の理念である「和顔愛護」「先意承問」に基づいて自分たちが入職してから今回の研修までの間に何に注意して仕事をしてきたかをグループごとに話し合いました。登山後の反省会で2ヶ月間理念を意識して自分がしてきたことについて話し合い、皆の意見を聞いて自分も頑張らねばと思いました。

また、登山中や反省会の中で各職種、病棟ではどのようなことを行っているのか、悩みについてやプライベートな話をしたりと普段ではなかなか話せないことを話す機会となり、良いリフレッシュになる研修でした。



## ファシリテーターとして参加して

総合相模更生病院 飯干 茜

6月1日に行われた新人フォローアップ研修に参加させていただきました。天気にも恵まれ、絶好の登山日和となりました。そんな中、皆で「高尾山登山」という1つの目標に向かい、成し遂げることが出来たという体験は、非常に有意義なものであったと考えています。

4月の新人研修の時点では、緊張した面持ちで社会人としての一步を踏み出すことに精一杯に見えた班員の皆が、今回は班内で自分たちの業務について率先して話し合ったり、悩みを共有・相談したりと、日頃から1人1人が責任を持って仕事に取り組んでいる様子が伺えました。また、私自身の話となってしまいますが、ファシリテーターとして参加していた他の2年目の同期とも、久しぶりに顔を合わせ近況報告し合うことが出来ました。

新入職員に対する研修でしたが、同期と直接顔を合わせ、語り合い、目標を掲げてともに努力するということの素晴らしさを、私自身が改めて学ぶことが出来ました。

このフォローアップ研修は今年度初の取り組みとのことでしたが、ぜひ来年度も本研修を組み込んでほしいと思います。





# イベント情報

7/8(火)

総合相模更生病院

ゴミゼロ運動

7/25(土)

ワゲン療育病院長竹

納涼祭

8/2(日)

相陽台ホーム

相陽祭

9/5(日)

ワゲン新横浜

夏祭り

# 各施設機関誌紹介

「ワゲン新横浜では平成23年10月より広報誌『和愛（わらい）』の発行を始めました。年4回、季節ごとのイベントなどを発信しています。」

ワゲン新横浜 利根



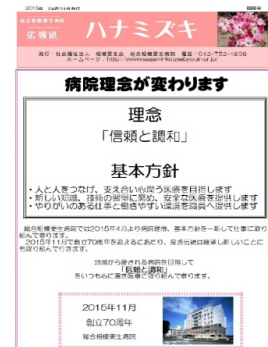
わ笑いあふれる げん元気な  
あ愛情たっぷり いイラスト豊  
富な ごご存知ですか? 「相陽  
台通信」 是非ご覧ください!!

相陽台ホーム 小島



更生病院では「ハナミズキ」を発  
行しています。新任の先生のご紹  
介や病院の最新トピックスが主な  
内容です。是非ご覧ください。

更生病院 鈴木





# ワゲン療育病院長竹 家族説明会

5/18に18家族46名、5/26に14家族23名を招待して行われました。当日は説明の後に音楽療法の体験や施設見学が行われました。現在利用中のご家族のお話は好評で皆さん熱心に耳を傾けておられました。今後ともワゲン療育病院長竹を宜しくお願いします。



## 決算報告

社会福祉法人 相模更生会

平成26年4月1日—平成27年3月31日

### 資金収支計算書

事業活動による収支		
収入	事業活動収入計	5,336,636,502
支出	事業活動支出計	5,099,369,410
	事業活動資金収支差額	237,267,092
施設整備等による収支		
収入	施設整備等収入計	2,010,485,074
支出	施設整備等支出計	1,311,572,499
	施設整備等資金収支差額	698,922,575
その他の活動による収支		
収入	その他の活動収入計	99,941,533
支出	その他の活動支出計	429,244,782
	その他の活動資金収支差額	-329,303,249
	当期資金収支差額合計	606,886,418
	前期末支払資金残高	752,656,877
	当期末支払資金残高	1,359,543,295

### 事業活動計算書

サービス活動増減の部		
収益	サービス活動収益計	5,285,706,527
費用	サービス活動費用計	5,212,629,315
	サービス活動増減差額	73,077,212
サービス活動外増減の部		
収益	サービス活動外収益計	50,929,975
費用	サービス活動外費用計	115,714,116
	サービス活動外増減差額	-64,784,141
	経常増減差額	8,293,071
特別増減の部		
収益	特別収益計	66,108,789
費用	特別費用計	286,727,214
	特別増減差額	-220,618,425
	当期活動増減差額	-212,325,354
繰越活動増減差額の部		
	前期繰越活動増減差額	1,589,898,275
	当期末繰越活動増減差額	1,377,572,921
	次期繰越活動増減差額	1,377,572,921

### 貸借対照表

資産の部		負債の部	
流動資産	2,130,335,330	流動負債	1,149,066,474
固定資産	9,475,928,979	固定負債	5,193,505,194
資産の部 合計	11,606,264,309	負債の部合計	6,342,571,668
		基本金	835,732,644
		国庫補助金等特別積立金	3,050,387,076
		次期繰越活動増減差額	1,377,572,921
		(うち当期活動増減差額)	-212,325,354
		純資産の部合計	5,263,692,641
			11,606,264,309

## 編集後記

梅雨の時期になりました。皆さんはいかがお過ごしですか？  
お待たせしました。ワゲン便り7号発行します。  
“つゆ”ってなんで梅雨って書くかご存知ですか？  
辞書で調べてみるとどうやら色々由来はあるようです。  
角度を変えると違った見え方が見えてきます。先入観にとらわれず  
物事を捉えていきたいですね。  
それでもやっぱり暑い夏・・・。

法人広報：有馬、俵、佐藤



スタンプ販売中  
「わげん」で検索



2015.7 Vol.7

■編集：相模更生会 広報

■お問い合わせ先：〒252-5225 神奈川県相模原市中央区小山3429

■mail：wagenkouho@wagen.or.jp

※わげん便りは社会福祉法人 相模更生会で出版されています。